

母子保健指標の活用法に関する研究

西牧 謙吾*

協力 東尾 晴夫**

要 約：母子保健計画の策定プロセスのなかで、「地域のあるべき姿」を実現するための具体的な条件を設定し、その条件に対応する指標を検討し、そのモニタリングシステムを構築し、母子保健活動の評価を行うべきである。指標には、まず既存の保健統計の活用が重要で、W I S Hはそれらのデータベースを提供している。必要に応じて新たな指標化も検討すべきである。

見出し語：母子保健計画、母子保健指標、モニタリング、W I S H

I、はじめに

地域で母子保健活動を展開する際、住民や母子保健関係者の間でその「目的」を共有することが望まれる。そのための一つの方法論として、平成6年度の本研究で、ヘルスプロモーション、プライマリ・ヘルス・ケアの視点から、企画計画アプローチ法として提唱されているブレイクスルー思考を用いて、地域（市町村）における母子保健計画策定のためのプロセスを示した¹⁾。

その中でまず、母子保健における「地域のあるべき姿」とは、「すべての子どもが健やかに成長することのできる地域社会」とあり、これを実現するために、1. 妊娠から出産まで安心できる、2. 安心して子育てができる、3. 疾病と事故を未然に防げる、4. 疾病や障害があっても、適切な医療や療育が受けられる、

5. 自己決定能力を獲得することにより思春期における課題を乗り越えることが出来る、という5つの条件をあげた。さらに、これら諸条件を実現するためにさらに下位の条件を具体的に設定し、それらの各条件と現状とのギャップを実態調査によって把握し、目標量を設定し、目標達成のために必要な事業や施設整備を検討して、母子保健計画を策定すべきであるとした。

この目標量設定には、下位条件に対応する母子保健指標の策定が不可欠である。また母子保健指標は、定量可能なものが望ましく、既存の健康指標を利用したり、必要に応じて新たな指標の開発しなければならない。行政機関は、この母子保健指標をモニタリングし、事業評価を行い、即座に必要な対策を立てる機能を要求される²⁾。

* 堺市宿院保健所、** 堺市泉北保健所

ここでは、母子保健指標に関する情報をどこから収集すべきか、その活用法はどのようにすればよいかについて検討したので報告する。

Ⅱ、評価指標について

評価指標とは、地域の状況や母子保健活動の効果を測定できる共通の物差しである。新たなアプローチによる母子保健計画策定では、下位の条件を、みんながイメージを共有できる言葉で、出来るだけ具体的に表現する必要がある³⁾。その中で、住民や母子保健関係者の間で、評価指標を何にとるかという事前の確認作業が行われる。下位の条件が具体的であればあるほど、指標化が容易となる。条件の指標化が進めば、目標量の設定も容易になる。この指標の動きに注目し、地区診断を行い、さらに次年度の重点施策をつくっていくことになる。

Ⅲ、母子保健指標に関するデータ収集と活用法について

【指標化の試み】

今回、「地域のあるべき姿」を実現するための5つの条件の指標化を試みた。各条件を、地域母子保健の現状・事業の成果、母子保健事業の実施実績、母子保健・医療・福祉関係の基盤整備の3つに分類し、それぞれをよく反映すると思われる評価指標を選別した（詳細は、本研究班 母子保健指標策定に関する研究を参照）。

【データ収集の方法】

データ収集においては、既存の保健統計データの利用が可能かどうか、保健所における個別集計が可能かどうか、新しい指標の開発が必要かどうか注意した。結果的には、データは、人口動態統計、保健所運営報告、国勢調査、優

性保護統計、医事関係統計、保健所での個別集計などから採用することが出来た。

既存データが利用できる場合、常時モニタリングされており、利用価値が高い。そこで、保健所、市町村で収集可能な情報データには、どのようなものがあるかを知ることは重要である。現在、わが国では各種統計資料が利用できる。人口統計、人口動態統計、医療統計、疾病統計、保健予防活動に関する統計、生活環境・栄養に関する統計があり、それぞれに、いろいろな統計報告書が定期的に出ている⁴⁾。まず、これらの統計データを有効に利用すべきである。

現在、厚生省では厚生行政の情報化を推進している。その中で、厚生行政総合情報システム（略称WISH）は、厚生省内及び厚生省と地方公共団体等関係機関間をオンラインで結ぶ情報通信システムである。これは、データベースとして使用可能であり、電子掲示板・電子メールで使用者間の双方向の通信が可能である⁵⁾。WISHの利用状況についての調査では、これを利用している保健所は23.2%（142/612）であり⁶⁾、全国的にみればオンライン化されていない保健所もある。データベースとしては、データがパソコンにダウンロード出来れば、容易に加工でき便利である。しかし、収録データの追加、拡充が追いついていないようで、メンテナンスに問題がある。従って、データベース機能より、伝言板機能の方が利用価値があるとの指摘もある。また政令指定都市、特別区、保健所政令市では、情報保護条例等で、情報の目的外使用を禁止しているところが多く、WISHそのものを利用できない場合がある。今後、デ

ータベース機能を充実させるためには、最新情報の更新に注意することは勿論、CD-ROM等による自治体への情報の提供も必要であろう。

【データの活用法】

WISHから採った既存データの加工例を示す。データ処理は、Lotus123、R5Jを用いた。都市部、郡部の比較では、大阪府、大分県を選んだ。事例は、選別した評価指標の中から、妊娠届出数・率（保健所運営報告、保健所別）、乳児死亡数・率（人口動態統計、都道府県・市町村別）、予防接種数・率（保健所運営報告、保健所別、麻疹・ポリオ・3種混合）を選んだ。データは、最新の1994年（WISHで最新）のものを扱い、必要に応じて過去のデータを利用した。

《結果》

a) 「妊娠・出産が安全にできる」という条件に対して、妊娠届出数・率（保健所運営報告、保健所別）という指標で評価した。

妊娠・出産が安全に出来るためには、妊娠早期から母体管理を行い、妊娠出産に関する知識をつけることが必要である。従って、妊娠11週までの届け出率が高く、28週以後がないことが、その地域において母子管理体制が健全な状態であると言える。

大阪府、大分県の市町村別妊娠届出率を見れば（表1）、妊娠11週までの届出率は、堺市中保健所88.50%から、大分県日田保健所40.98%まで広がりがある。また、28週以後の届出率は、大阪市浪速保健所で5%を越えている。

これは、毎年モニターでき、妊娠届出時個別指導、28週以後届け出た人の個別調査等、対策

が立てやすいので、指標として優れていると考えられる。

b) 「安心して子育てができる」という条件に対して乳児死亡数・率（人口動態統計、都道府県・市町村別）で評価した。

乳児死亡率は、母子保健全体を評価する指標としてよく研究されており⁸⁾、評価指標として確立している。その理由は、把握漏れがなく

（評価にバイアスがかからない）、統計資料が豊富で、年次比較、国際比較が可能であり⁴⁾、乳児死亡率の減少（生まれた赤ちゃんが死なずに育つ）が、母子保健の大きな目標であったためと考えられる。しかし、日本の乳児死亡率が、すでに出生1000人対4.2（1994年、全国）で世界のトップレベルになり、年次推移でみてもあまり動く指標ではなくなった。

そこで大阪府市町村別乳児死亡率を、1989年、1994年で比較した（図1）。このような統計地図を作成すると、大域的傾向の比較が可能で、地域集積性や孤立した高率地域が発見でき、地域較差の程度が把握できる。この5年間で、有意ではないが、全体的減少傾向は見取れる。地域集積性などの特徴が観察できれば、医療体制など、他の関連要因を考慮し、要因分析的な観察が可能である。また、個々の数値は、全国平均と統計的に差がないが、1994年度の東大阪市は全国平均より有意に高いという結果であった。このように人口規模の小さい市町村単位、保健所単位では偶然変動が大きく、指標として単年度で比較することには適さないが、有意性の検定を行えば、その偶然変動の度合いを調べることができる。

ここで有意性の検定の具体例を、1994年度都道府県別乳児死亡率でみる。標準化死亡比（SMR）と同じ考え方で、全国平均を基準として都道府県の乳児死亡数（乳児死亡率で比をとっても同じである）との比較を行った（表2）。乳児死亡率が小さいとき、P o i s s o n 分布に従うと仮定し、95%信頼区間を計算し、乳児死亡率が全国平均に比べて有意に高いかどうか判定することにした⁷⁾。1994年の都道府県別乳児死亡率で、宮崎県、沖縄県が全国平均より悪いという結果を得た。そこで、その年だけの偶然変動の可能性も考え、両県の過去6年間の平均で評価し、有意に高いのは、沖縄県であることが分かった。

以上のように、「安心して子育てができる」という条件を乳児死亡率で評価することは難しいが、乳児死亡数のように数が少なければ、死亡小票などで全数調査を行い、関連要因を明らかにすることも出来る。また、単年度ではあまり動かないと考えられている指標でも、統計的判断を行うことで、地域較差を明らかにできる。

c) 「病気や事故を未然に防げる」という条件に対して、予防接種被接種者数（保健所運営報告、保健所別、麻疹、ポリオ、3種混合）から、接種者率を推測し評価した（表3）。率を出すときの分母は、例えば麻疹は、1～2歳に接種のピークがあると考え、前々年の出生数とした。人口移動、特に転入が多い地域は、100%を越えるところもある。地域間で変動が認められるが、何を意味するかは不明である。他都市より、極端に低い地域はその原因を追究する必要があると思われる。

3) 新たな調査の必要性

健康モニタリングも、常時モニタリングと必要に応じた調査研究に分かれる。新しい評価指標が必要になれば、当然調査研究が必要になる。この指標は、地域への適応性が要求され、同じ条件を指標化しても、国、都道府県、市町村レベルで、違った指標の開発が必要になるかもしれない。新しい指標の開発の例として、本年度の研究で、「子育てに関する不安感など心理的要因について」で述べられている。

IV、おわりに

保健所管内のいくつかの市町村間で指標を比較する時、市町村間のどのレベルにあるかを知るための相対評価で終わるだけでなく、乳児死亡や自殺のように絶対数が少ない場合、個別の事例を検討し、予防可能であったかを評価する絶対評価まで進むべきである。単年度で、異常値が出て偶然変動の可能性もあるので、過去5年間を加えあわせて、評価し直すことも必要である。

このように、母子保健計画に基づき、指標をモニタリングして評価することは重要であるが、地域情報が、すべて網羅されているわけではない。また、市町村などの情報発生源レベルでは、地域の情報は保健婦のところで未整理のままで存在することが多く、関係者間で共有できる形にならず、従ってマスとして捉えることも難しくなる。今、保健分野でもPOS研修が盛んになりつつあるが、これはそのような反省点に立ってのことである。地域の情報発生源から情報収集するためには、そのプロセスを出来るだけシステム化しなければならない。システム化が

出来て、情報の継続性、信頼性が生まれると考えられる。今後保健情報の活用を考えるときの重要な課題である。

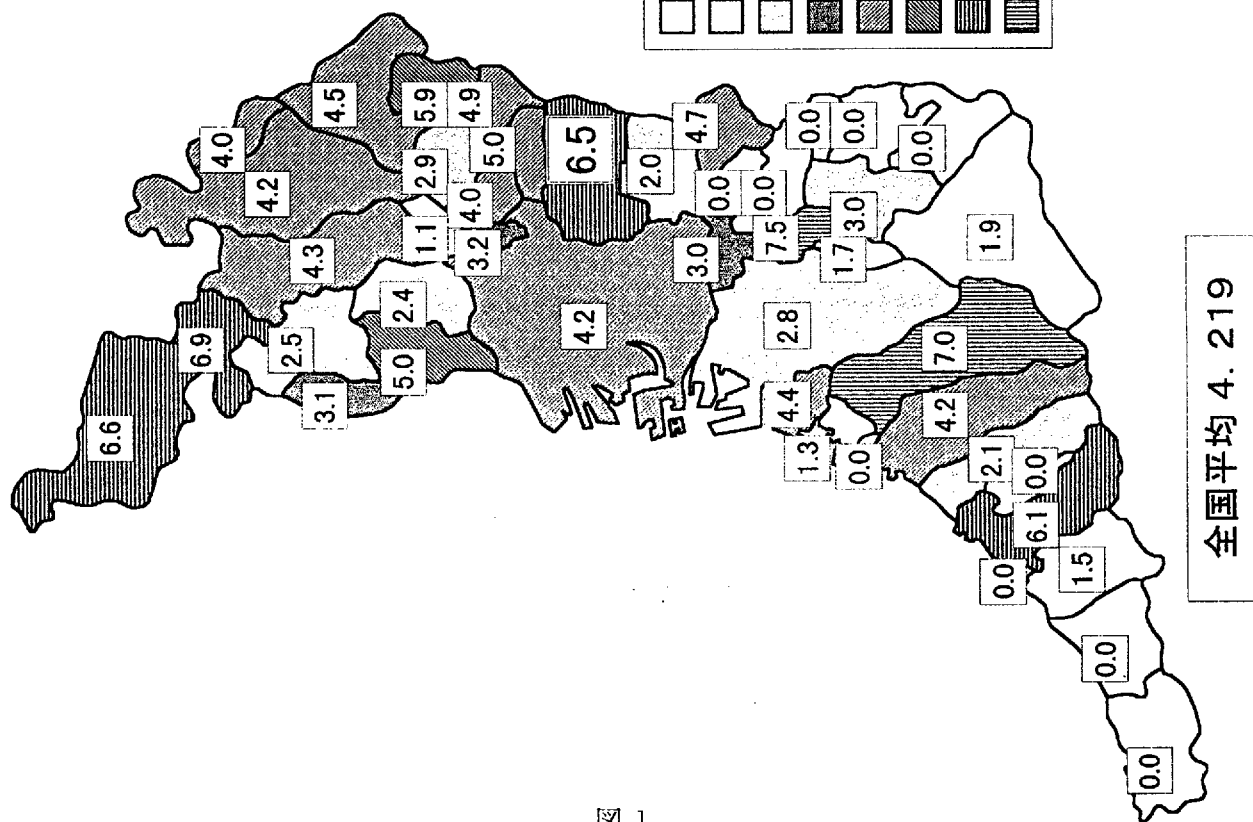
参考文献

- 1) 吉田、藤内：「これからの母子保健活動がめざすもの」 平成6年度厚生省心身障害研究市町村における母子保健事業の効率的実施に関する研究（主任研究者 高野 陽）30-40、1995
- 2) 西牧：「地域母子保健の健康指標の健康モニタリングシステムについて」 平成6年度厚生省心身障害研究 市町村における母子保健事業の効率的実施に関する研究（主任研究者 高野 陽）83-87、1995
- 3) 岩永：地域づくり型保健活動のすすめ、医学書院、1995
- 4) 柳川、他：疫学マニュアル、南山堂、1991
- 5) 厚生行政総合情報システム使用説明書 厚生省統計情報部 1992
- 6) 地域保健情報のネットワークの効果的活用に関する研究報告書（主任研究者 末田 拓）平成6年度地域保健総合推進事業補助金 1995
- 7) B. S Schoenberg: Calculating Confidence Intervals for Rates and Rates, Neuroepidemiology 2; 257-265, 1983
- 8) 丸山：丸山博著作集1 死児をして叫ばしめよ、農山漁村文化協会、1989

表 1 大阪府・大分県 保健所運営報告、妊娠届出者数

	妊娠の 届出者 数	妊娠の 届出者 数	妊 娠 週 (月) 率				不 詳
			-11W (-3M)	12-19W (4-5M)	20-27W (6-7M)	28W- (8M-)	
全国	1278914	100.00%	60.12%	35.10%	2.77%	1.11%	0.91%
大阪府	96494	100.00%	70.34%	25.25%	2.16%	0.90%	1.35%
大阪市(再)	27859	100.00%	68.53%	26.62%	2.51%	1.20%	1.15%
都島	1026	100.00%	77.29%	19.98%	1.85%	0.68%	0.19%
福島	565	100.00%	67.08%	29.03%	3.01%	0.71%	0.18%
此花	735	100.00%	76.05%	19.59%	3.40%	0.95%	0.00%
大阪市西	573	100.00%	65.27%	26.00%	2.97%	1.22%	4.54%
港	1017	100.00%	67.55%	26.94%	2.75%	1.08%	1.67%
大正	780	100.00%	75.51%	19.36%	3.08%	0.90%	1.15%
天王寺	525	100.00%	64.57%	30.86%	3.24%	1.14%	0.19%
浪速	477	100.00%	57.86%	31.66%	4.40%	5.24%	0.84%
西淀川	974	100.00%	59.65%	36.86%	2.36%	0.92%	0.21%
東淀川	2421	100.00%	61.71%	35.40%	1.73%	0.74%	0.41%
東成	807	100.00%	67.41%	28.75%	2.48%	1.36%	0.00%
生野	1544	100.00%	64.83%	27.53%	2.07%	1.10%	4.47%
旭	991	100.00%	72.55%	23.61%	1.51%	0.91%	1.41%
城東	1652	100.00%	76.33%	21.49%	1.69%	0.36%	0.12%
阿倍野	800	100.00%	73.88%	23.00%	1.88%	1.00%	0.25%
住吉	1950	100.00%	68.87%	28.15%	2.15%	0.72%	0.10%
東住吉	1423	100.00%	68.31%	27.62%	2.32%	1.26%	0.49%
西成	991	100.00%	67.00%	25.93%	3.53%	1.92%	1.61%
淀川	1651	100.00%	63.90%	31.74%	3.03%	0.91%	0.42%
鶴見	1295	100.00%	80.69%	17.61%	1.31%	0.23%	0.15%
住之江	1739	100.00%	73.32%	16.16%	5.58%	4.89%	0.06%
平野	2703	100.00%	61.45%	31.48%	1.85%	0.63%	4.59%
大阪市北	776	100.00%	74.36%	22.55%	2.45%	0.52%	0.13%
大阪市中心	444	100.00%	70.27%	25.00%	3.15%	1.58%	0.00%
金岡	1865	100.00%	77.80%	18.28%	0.91%	0.80%	2.20%
鳳	1323	100.00%	76.80%	20.71%	1.44%	0.60%	0.45%
宿院	2535	100.00%	76.17%	19.25%	2.09%	1.66%	0.83%
泉北	1619	100.00%	81.66%	16.62%	1.11%	0.49%	0.12%
中	1582	100.00%	88.50%	10.18%	0.70%	0.51%	0.13%
東大阪市東	1472	100.00%	66.10%	30.50%	2.65%	0.75%	0.00%
東大阪市西	2210	100.00%	71.99%	24.16%	2.13%	1.04%	0.68%
東大阪市中	1863	100.00%	68.65%	27.43%	1.93%	0.86%	1.13%
池田	2642	100.00%	68.40%	27.33%	2.16%	0.42%	1.70%
豊中	4144	100.00%	72.15%	24.16%	1.86%	0.99%	0.84%
吹田	4532	100.00%	71.84%	24.38%	1.79%	0.95%	1.04%
茨木	2932	100.00%	70.46%	25.95%	1.91%	0.65%	1.02%
高槻	4303	100.00%	65.65%	31.12%	2.14%	0.56%	0.53%
枚方	4400	100.00%	70.52%	25.45%	1.84%	0.66%	1.52%
寝屋川	3021	100.00%	74.78%	18.37%	1.75%	0.76%	4.34%
守口	1680	100.00%	59.05%	35.06%	2.68%	1.37%	1.85%
四条畷	1393	100.00%	69.06%	26.56%	1.51%	0.57%	2.30%
八尾	4096	100.00%	72.12%	22.39%	1.98%	0.78%	2.73%
藤井寺	2665	100.00%	64.80%	29.01%	5.33%	0.49%	0.38%
狭山	906	100.00%	78.15%	18.54%	1.77%	0.22%	1.32%
壺田林	2770	100.00%	73.83%	21.19%	1.41%	0.65%	2.92%
和泉	1826	100.00%	72.95%	23.49%	1.48%	0.38%	1.70%
泉大津	1796	100.00%	77.28%	20.16%	1.45%	0.61%	0.50%
岸和田	2349	100.00%	73.61%	22.44%	1.87%	0.47%	1.62%
貝塚	942	100.00%	64.54%	30.15%	2.97%	1.17%	1.17%
泉佐野	1394	100.00%	58.97%	36.51%	1.94%	1.08%	1.51%
尾崎	1414	100.00%	72.98%	21.22%	2.62%	0.50%	2.69%
門真	1836	100.00%	62.36%	30.17%	3.65%	1.36%	2.45%
松原	1493	100.00%	73.74%	23.17%	1.47%	0.94%	0.67%
大東	1632	100.00%	59.31%	37.01%	1.72%	0.80%	1.16%
大分県	12105	100.00%	64.93%	30.25%	2.66%	1.09%	1.07%
高田	164	100.00%	68.90%	24.39%	3.05%	0.61%	3.05%
国東	323	100.00%	72.45%	21.98%	1.24%	0.93%	3.41%
日出	487	100.00%	66.74%	30.18%	2.26%	0.62%	0.21%
別府	1208	100.00%	65.40%	28.81%	2.73%	1.08%	1.99%
大分	5319	100.00%	65.44%	30.89%	2.24%	1.09%	0.34%
臼杵	501	100.00%	74.65%	20.76%	2.40%	0.80%	1.40%
佐伯	779	100.00%	58.79%	35.56%	2.82%	0.90%	1.93%
三重	406	100.00%	76.35%	18.97%	3.20%	0.74%	0.74%
竹田	234	100.00%	76.07%	20.94%	2.14%	0.85%	0.00%
玖珠	329	100.00%	71.12%	22.49%	2.43%	1.52%	2.43%
日田	820	100.00%	40.98%	51.59%	5.49%	1.71%	0.24%
中津	938	100.00%	64.93%	28.78%	2.99%	1.28%	2.03%
宇佐	597	100.00%	70.02%	23.28%	2.85%	1.17%	2.68%

乳児死亡率1994



乳児死亡率1989

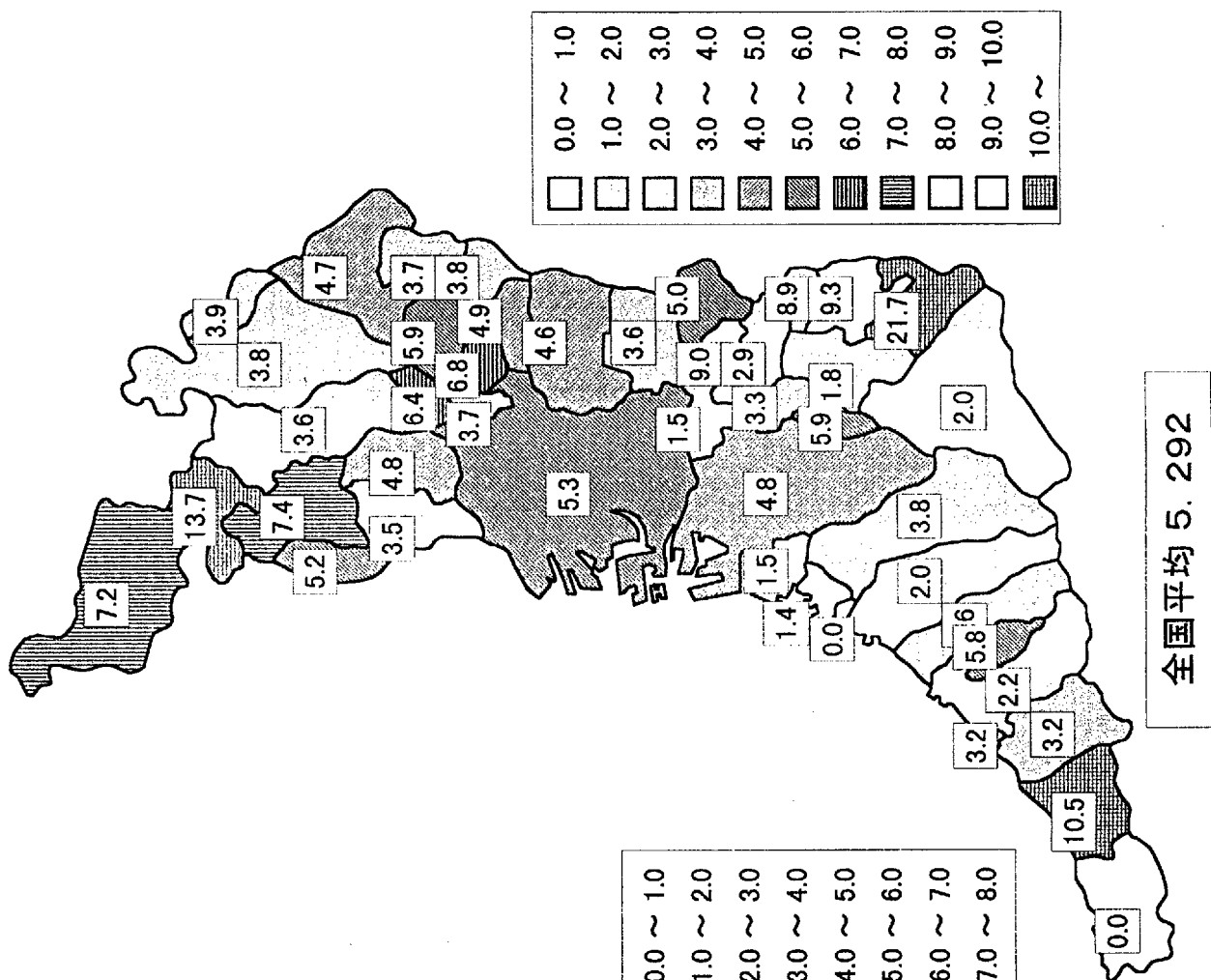


図 1

表 2

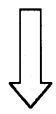
都道県別 乳児死亡率 1994

	出生数	乳児 死亡数	乳児 死亡率	期待乳児 死亡数 出生数× 4.2485	95%信頼区間 係数×乳児死亡数		乳児 死亡数/ 期待乳児 死亡数	
					下限	上限		
全 国	1238328	5261	4.2485	5261.04				
北 海 道	52522	208	3.9602	223.14	180.54	239.41	0.9322	
青 森 県	14767	61	4.1308	62.74	46.67	78.08	0.9723	
岩 手 県	13672	63	4.6080	58.09	48.38	80.64	1.0846	
宮 城 県	22759	86	3.7787	96.69	68.80	106.64	0.8894	
秋 田 県	10742	40	3.7237	45.64	28.56	54.40	0.8765	
山 形 県	12158	46	3.7835	51.65	33.67	61.18	0.8906	
福 島 県	22181	113	5.0945	94.24	93.56	136.39	1.1991	
茨 城 県	29483	117	3.9684	125.26	97.23	140.75	0.9341	
栃 木 県	19735	90	4.5604	83.84	72.36	110.70	1.0734	
群 馬 県	20338	90	4.4252	86.41	72.36	110.70	1.0416	
埼 玉 県	69776	305	4.3711	296.44	272.06	341.91	1.0289	
千 葉 県	56667	219	3.8647	240.75	190.09	252.07	0.9097	
東 京 都	101998	433	4.2452	433.34	392.30	478.03	0.9992	
神 奈 川 県	83868	370	4.4117	356.31	332.63	411.44	1.0384	
新 潟 県	24116	90	3.7320	102.46	72.36	110.70	0.8784	
富 山 県	10227	44	4.3023	43.45	31.99	58.96	1.0127	
石 川 県	11935	64	5.3624	50.71	49.28	81.92	1.2622	
福 井 県	8679	38	4.3784	36.87	26.90	52.06	1.0306	
山 梨 県	9292	46	4.9505	39.48	33.67	61.18	1.1652	
長 野 県	22012	82	3.7252	93.52	65.19	101.68	0.8768	
岐 阜 県	20623	83	4.0246	87.62	66.15	102.92	0.9473	
静 岡 県	37462	151	4.0308	159.16	128.35	177.58	0.9487	
愛 知 県	74180	301	4.0577	315.15	268.49	337.42	0.9551	
三 重 県	18144	80	4.4092	77.08	63.44	99.20	1.0378	
滋 賀 県	13940	65	4.6628	59.22	50.18	82.55	1.0975	
京 都 府	24245	122	5.0320	103.00	101.75	146.16	1.1844	
大 阪 府	88419	340	3.8453	375.65	303.28	381.14	0.9051	
兵 庫 県	54940	224	4.0772	233.41	194.43	257.82	0.9597	
奈 良 県	13516	64	4.7351	57.42	49.28	81.92	1.1145	
和 歌 山 県	10152	46	4.5311	43.13	33.67	61.18	1.0665	
鳥 取 県	6027	20	3.3184	25.61	12.22	30.80	0.7811	
島 根 県	7068	35	4.9519	30.03	24.40	48.65	1.1656	
岡 山 県	19085	77	4.0346	81.08	60.75	96.25	0.9496	
広 島 県	28898	141	4.8792	122.77	119.15	166.80	1.1485	
山 口 県	13944	71	5.0918	59.24	55.45	89.46	1.1985	
徳 島 県	7412	35	4.7221	31.49	24.40	48.65	1.1115	
香 川 県	9555	32	3.3490	40.59	21.89	45.12	0.7883	
愛 媛 県	14195	66	4.6495	60.31	51.02	83.82	1.0944	
高 知 県	7305	35	4.7912	31.04	24.40	48.65	1.1277	
福 岡 県	48952	203	4.1469	207.97	176.20	233.65	0.9761	
佐 賀 県	9264	42	4.5337	39.36	30.28	56.70	1.0671	
長 崎 県	15952	55	3.4478	67.77	41.42	71.50	0.8115	
熊 本 県	18521	78	4.2114	78.69	61.62	97.50	0.9913	
大 分 県	11770	41	3.4834	50.00	29.44	55.76	0.8199	
宮 崎 県	12245	69	5.6350	52.02	53.68	87.63	1.3263	*
鹿 児 島 県	17914	69	3.8517	76.11	53.68	87.63	0.9066	
沖 縄 県	17377	95	5.4670	73.83	76.86	115.90	1.2868	*
全 国	7327231	32648	4.4557					
沖 縄 県	104788	584	5.5732	466.905	540.20	631.30		*
宮 崎 県	73133	397	5.4285	407.582	364.84	431.94		

表 3

保健所運営報告、定期の予防接種被接種者

	三種混合					ポリオ		麻疹	
	対象者数 前年の出 生数×3	三種混合 第一期 第一回	第二回	第三回	第一期 終了者	対象者数 前年の出 生数×2		対象者数 前々年の 出生数	
全国	3564846	31.43%	30.11%	28.37%	89.92%	2376564	93.38%	1208989	74.94%
大阪府	252453	29.16%	28.19%	26.79%	84.14%	168302	89.85%	86658	72.58%
大阪市(再)	72024	28.37%	28.20%	26.88%	83.45%	48016	91.03%	24810	66.95%
都島	2829	28.70%	26.44%	24.96%	80.10%	1886	89.93%	948	70.89%
福島	1488	25.00%	27.49%	24.13%	76.61%	992	100.20%	508	59.45%
此花	2076	22.93%	24.42%	24.47%	71.82%	1384	90.25%	722	57.76%
大阪市西	1590	26.04%	25.66%	23.71%	75.41%	1060	83.68%	514	55.25%
港	2634	22.70%	23.12%	21.56%	67.39%	1756	85.88%	877	50.06%
大正	2220	24.82%	23.69%	21.71%	70.23%	1480	98.04%	701	58.92%
天王寺	1380	27.83%	27.68%	28.04%	83.55%	920	90.76%	455	83.52%
浪速	1323	24.87%	24.49%	23.81%	73.17%	882	79.59%	460	61.96%
西淀川	2436	28.20%	27.79%	27.18%	83.17%	1624	95.87%	922	69.96%
東淀川	6426	27.84%	26.95%	29.71%	84.50%	4284	87.54%	2238	62.96%
東成	1872	32.69%	35.52%	27.88%	96.10%	1248	98.16%	663	78.73%
生野	2922	36.82%	35.83%	33.40%	106.06%	1948	122.13%	1016	92.32%
旭	2505	28.50%	28.30%	26.35%	83.15%	1670	91.14%	846	63.48%
城東	4218	28.57%	29.37%	27.19%	85.14%	2812	87.87%	1486	68.10%
阿倍野	2082	29.63%	29.78%	28.10%	87.51%	1388	95.39%	762	70.21%
住吉	5340	29.81%	29.40%	27.85%	87.06%	3560	86.10%	1705	71.09%
東住吉	4020	27.26%	27.29%	25.60%	80.15%	2680	81.34%	1370	66.86%
西成	2616	25.80%	25.08%	23.70%	74.58%	1744	82.68%	895	61.56%
淀川	4356	27.59%	27.00%	23.42%	78.01%	2904	87.16%	1549	58.04%
鶴見	3393	32.10%	31.30%	29.97%	93.37%	2262	100.66%	1107	76.51%
住之江	4491	31.93%	31.42%	30.64%	93.99%	2994	87.17%	1666	70.53%
平野	6594	31.54%	31.21%	29.57%	92.33%	4396	94.24%	2319	70.46%
大阪市北	2097	21.46%	22.70%	21.98%	66.14%	1398	86.19%	686	60.50%
大阪市中央	1116	16.31%	18.28%	21.15%	55.73%	744	95.03%	395	43.54%
金剛	5226	31.32%	31.06%	30.46%	92.84%	3484	105.86%	1850	74.59%
鳳	4062	30.92%	29.91%	29.81%	90.65%	2708	78.18%	1550	61.94%
淀院	5349	29.91%	29.05%	28.47%	87.44%	3566	75.69%	1898	65.38%
城北	5376	29.15%	33.24%	32.16%	94.55%	3584	99.33%	2033	77.67%
中	3603	23.84%	22.26%	20.26%	66.36%	2402	81.31%	942	87.47%
東大阪市東	3741	29.14%	28.23%	27.16%	84.52%	2494	91.42%	1329	82.47%
東大阪市西	5655	24.69%	24.03%	23.27%	71.99%	3770	96.74%	1953	72.76%
東大阪市中	4875	23.71%	22.97%	22.32%	69.01%	3250	95.75%	1615	62.17%
池田	7248	28.33%	29.10%	27.30%	84.81%	4832	73.94%	2431	79.06%
豊中	11280	28.09%	27.54%	26.37%	82.00%	7520	90.08%	4156	70.84%
吹田	12465	29.57%	30.21%	28.90%	88.69%	8310	90.24%	4297	73.61%
茨木	7932	31.35%	29.95%	27.51%	88.82%	5288	89.92%	2585	125.49%
高槻	11466	26.97%	26.59%	25.87%	79.43%	7644	94.62%	3992	76.08%
枚方	11559	27.66%	24.62%	22.03%	74.31%	7706	94.68%	3879	66.25%
寝屋川	7674	27.94%	26.96%	26.52%	81.42%	5116	95.33%	2674	70.38%
守口	4848	26.57%	26.18%	24.88%	77.62%	3232	89.51%	1591	73.92%
四条畷	3516	26.82%	25.43%	26.19%	78.44%	2344	102.82%	1028	80.64%
八尾	10728	21.92%	18.65%	18.91%	59.49%	7152	72.75%	3661	43.79%
藤井寺	5211	35.41%	35.06%	32.57%	103.03%	3474	90.85%	1716	62.30%
狭山	2352	50.60%	47.11%	43.79%	141.50%	1568	100.45%	786	81.55%
富田林	7647	41.05%	31.76%	28.47%	101.28%	5098	94.41%	2650	129.70%
和泉	4683	31.20%	30.92%	29.98%	92.10%	3122	100.29%	1589	86.34%
浪大津	4773	33.96%	32.54%	30.00%	96.50%	3182	93.93%	1539	67.90%
岸和田	6234	26.71%	24.96%	22.84%	74.51%	4156	96.87%	2165	61.71%
貝塚	2376	32.58%	30.77%	30.51%	93.86%	1584	97.92%	856	62.85%
泉佐野	3852	29.60%	28.48%	27.41%	85.49%	2568	90.77%	1280	72.58%
尾崎	3786	41.71%	37.51%	34.84%	114.05%	2524	87.08%	1296	65.12%
門真	4824	21.52%	20.79%	18.28%	60.59%	3216	83.61%	1707	68.19%
松原	3840	44.56%	43.20%	38.67%	126.43%	2560	43.05%	1281	87.28%
大東	4248	24.86%	23.96%	23.07%	71.89%	2832	84.18%	1519	60.37%
大分県	33903	39.96%	38.99%	40.52%	119.46%	22602	94.44%	11509	84.23%
高田	762	64.30%	56.17%	44.36%	164.83%	508	87.01%	231	78.79%
国東	981	54.94%	46.08%	46.38%	147.40%	654	101.22%	321	92.21%
日出	1413	45.72%	46.21%	46.43%	138.36%	942	99.58%	486	86.63%
別府	3111	44.46%	38.96%	34.81%	118.23%	2074	101.40%	1140	71.75%
大分	14601	35.84%	38.09%	42.94%	116.87%	9734	92.64%	4885	97.44%
臼杵	1371	35.52%	36.32%	35.81%	107.66%	914	100.06%	488	64.55%
佐伯	2319	30.96%	26.95%	27.34%	85.25%	1546	97.28%	741	75.84%
三重	1113	29.02%	27.04%	26.15%	82.21%	742	88.41%	381	60.63%
竹田	705	38.01%	33.05%	42.98%	114.04%	470	87.45%	240	68.75%
玖珠	882	40.48%	37.98%	40.36%	118.82%	588	95.75%	322	82.92%
日田	2382	46.10%	44.71%	44.00%	134.80%	1588	98.05%	818	74.69%
中津	2598	47.61%	43.23%	43.69%	134.53%	1732	89.26%	861	85.02%
宇佐	1665	46.13%	43.90%	40.66%	130.69%	1110	92.34%	595	56.13%



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要 約:母子保健計画の策定プロセスのなかで、「地域のあるべき姿」を実現するための具体的な条件を設定し、その条件に対応する指標を検討し、そのモニタリングシステムを構築し、母子保健活動の評価を行うべきである。指標には、まず既存の保健統計の活用が重要で、WISHEF よそれらのデータベースを提供している。必要に応じて新たな指標化も検討すべきである。